



たなか よしゆき そうそう  
田中 良幸〔創造〕



## 熊などの鳥獣類や不審者情報と防災情報の一元化について

**問** 災害情報のほか、熊などの鳥獣類や、不審者の情報を、市はどのように捉えているのか。

**答** 市民の身の危険という観点から言えば、地震や豪雨などの防災情報と、熊を含む鳥獣害や不審者情報は同等であると認識しており、最優先で市民に伝えるべき内容と考えている。

情報の伝達方法としては、熊については、緊急情報一斉配信メール(ライデン)、区長会を通じた「結ネット」、市のホームページ、こしの都ネットワークのライフラインメールにて情報伝達を行っている。また、イノシシや

鹿などの鳥獣の情報は、目撃情報があまりないことから、今のところ情報提供は行っていない。また、不審者情報については、福井県警察本部が運用している、ふくい安全情報ネットワークシステム(リュウピーネット)やこしの都ネットワークのライフラインメールにて発信している。基本的には、ライデンを情報発信の軸として考えている。

**問** 市民に危害が及びそうな情報をすべて統括した、専用の部局を設置することへの考えは。

**答** 全国や県内の市の状況を見ると、防災安全の専用セクションを、課のレベルから部のレベルに上げて設置している自治体があることは承知している。



防災・熊・不審者情報の一元化を



つちだ ひかる ゆい  
土田 光〔さばえ結の会〕



## 鯖江市ひとり親家庭習い事支援事業について

**問** この事業の趣旨や目的は。

**答** 習い事は子どもの興味関心を広げ、心身の健やかな成長の一助となる大切なものである。県の調査によると、ひとり親家庭で習い事をしない理由のうち、約4割が経済的理由を挙げており、ひとり親家庭の子どもに対して費用の一部を助成し、子どもの成長を支援する目的で実施している。

**問** 来年度以降も継続して行うのか。

**答** この事業は10月に開始したばかりであり、新年度に向けた習い事を始めるきっかけにもなると考えているため、来年度についても継続する予定である。

**問** 大阪市や南房総市では、ひとり親家庭以外にも習い事支援を行っているが、鯖江市でも同様の支援をすることはできないのか。

**答** 開始して間もない事業であるため、今後の利用状況や市民の声、ほかの子育て支援事業など様々な観点から考え、また今後の県の動向も注視しながら、必要に応じて検討していきたい。



子どもの成長の一助として  
習い事の支援を

# 一般質問を見てみよう!

### 市役所の議場で

鯖江市議会は、市役所の議場で傍聴することができます。



### こしの都TV9チャンで

こしの都TV9チャン(旧:丹南ケーブルテレビ)で生中継・録画放送を行っています。



### YouTubeで

YouTubeの鯖江市議会チャンネルで、動画を配信しています。  
\*右のQRコードまたは各議員の質問欄に掲載のQRコードを読み取ることで視聴できます。



### 会議録で

鯖江市議会の会議録検索ページから、会議録の閲覧ができます。  
\*掲載までに時間がかかる場合があります。順次掲載いたしますので、ご了承ください。

